



## 設計主旨

### CONCEPT

実家近くの農地を息子さんが譲り受け、そこに家を計画しました。これは群馬ではよくある形かと思いますが。ただし、今回の計画では単なる土地提供ではなく、近くに住む意味を考えながらつくりました。計画に先駆け、敷地南に施主のお父様が、バラ園を作りました。バラ園は、群馬県からも表彰され他地域からも見学者が訪れるほど、きれいに整備されたものになりました。このバラ園を望みながら、おじいちゃん子供たちが交流できる家。バラを見ながら軒先でお茶をする。そんな家がのぞまれました。

北風がとても強い場所と、実家に住んだ経験を活かし、北側を閉じながら南に開く扇形の平面計画にしました。2階も検討しましたが、広い敷地を活かし平屋としました。そのことで天井高さが自由となり、室内空間にゆとりを持たせることが出来ました。又、北側の屋根の隙間に窓を設けることで、十分な通風と採光を確保しました。仕事の都合上、日中家にいることもあるご主人を考慮し日中の光の落ち方もこだわりました。大きな庇には、大小の開口があり、日々刻々と変化する光が日常へのアクセントとなります。

北には中庭を設け、安定した採光を取り入れました。また、その中庭を望みながら入れる浴室を設けました。奥様の作業動線や効率を考慮し、水廻りをまとめました。雨の日や強風の日も物干しが出来るよう、高い洗面所の天井を活かし、室内物干し場も用意しました。

### 平面図



## 講評

### REVIEW

榛名山南東部の扇状地に建つこの平屋建ての住宅は、道路から見る外観は北風を防ぐように閉じているが、高さを低く抑えた外壁を板張りとして、周囲の昔ながらの家並みに溶け込んでいる。

敷地南側には建て主のお父様が作った綺麗なバラ園があり、その眺めを活かした配置には、おじいちゃん子供達の交流、訪れる人々との交流を大切にしている意図が感じられる。

ワンルームのような広々としたリビング・ダイニングと、低い床レベルの畳のくつろぎスペース。室内全体と庭・バラ園までもが見渡せるアイランドキッチン。子供部屋も建具を開け放すことで通路と庭が一体に感じるなど、連続感を楽しませてくれる空間構成が素晴らしい。

庭との間は深い軒が水平に広がり、バラ園と庭の広がりを横に強調しながら景色を取り込む。この庇に開口を設けたり、屋根のかけ方の工夫で建物中央部に光を落とし込んだりと、1日の自然の変化をより楽しむ工夫がある。環境と共存し、生活に豊かさを与えてくれる優れた住宅である。



## 優秀賞 | ぐんまの家

GUNMA HOUSING AWARD

(ファミリー住宅賞)

## 光とあそぶ家

(ひかりとあそぶいえ)

設計者 / 有限会社 HIRO 建築工房

施工者 / 有限会社 阿部建築

